

第39回 第3章 現代社会の諸課題

第1節 日本社会の諸課題

講師

赤荻雅己

どのようにして若者の労働環境を改善するか？

学習のねらい

いま日本では働く環境が大きく変化しています。パート、アルバイト、派遣労働など、正社員でない働き方が増えているのです。まずこの変化を経済の動きの中で理解し、若者の雇用と労働がどうなっているのか、そこで起こっている問題に対してどう取り組んだらよいのか、考えていきましょう。

.....

調べておこう
覚えておこう

フリーター／ミスマッチ／非正規雇用／
長時間労働／グローバル化／労働基準監督署／
日本的経営方式／最低賃金／ワーキングプア

.....

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

雇用環境の変化

パート、アルバイト、派遣労働などを^① _____ と言います。今日雇われて働く人のおおよそ4割を占めるようになり、特に24歳以下の若者の間で増加しています。

そのきっかけは1990年代初めに起こったバブル崩壊でした。以降日本経済は不況に苦しみ、企業は、人件費を抑えるために正社員を減らし、新規の採用を控えたのです。他方で^② _____ が進み、海外の低価格の商品に対抗するため、業務を、パート、アルバイト、派遣労働などに置き換えるようになりました。正社員に比べてより低いコストで雇うことができたからです。また経営が悪化したときに雇用を打ち切りやすいメリットもありました。

こうした変化が起こる前、企業は新しく学校を卒業した若者を採用し、定年まで雇用するのが一般的でした。これを終身雇用と言います。企業は、即戦力というよりも、長期的な視点で社員を育てることにメリットを見いだしていました。また賃金は、年功序列型賃金と言い、毎年目に見える形で上昇し、結婚、子育てなど社員の生活の変化に対応していたのです。こうした企業の経営のあり方を「^③ _____ 」と言い、経済が右肩上がり成長していた時代につくられました。

POINT 2

若者を取りまく雇用環境

バブル崩壊後、^④ _____ と呼ばれる正規の職を持たない若者が増えました。価値観が多様化している中、自由な働き方が可能になりましたが、他方で^⑤ _____ と呼ば

